



伊勢市人権尊重都市宣言

すべて国民は、日本国憲法のもと、基本的人権が保障され自由で平等な社会の実現を願っています。

しかしながら、現実の社会生活においては、今なお人権が侵害される事象が見受けられます。

今こそ、市民一人ひとりが人権尊重の精神に徹し、より豊かな人権感覚を身につけることが大切です。

よって私たちは、自らの人権意識を高め、すべての人々の人権が守られる心豊かで明るく住みよい地域社会を築くため、ここに「人権尊重都市」を宣言します。

平成18年7月11日 伊勢市



伊勢市人権政策課

伊勢市岩渕1丁目7-29
TEL 0596-21-5546

みんなの

人権

ハンドブック

No.12

慣習と人権



伊勢市・伊勢市教育委員会・伊勢市人権施策推進協議会



慣習や言い伝えに とらわれていませんか

皆さんは日常生活の中で、「北向きに寝ない」「夜に爪を切らない」「履物は夜に下ろさない」など、さまざまな慣習や言い伝えにとらわれていませんか。

中でも「六曜」(先勝・友引・先負・仏滅・大安・赤口)は、カレンダーに記載されている場合もあり、「日柄」にとらわれる人は多いようです。

六曜とは

■日柄の起源

昔の中国の占い「吉凶占い」で、「六曜」ともいい、一日を午前、正午、午後の3つに分け、それぞれに「吉」と「凶」を当てはめたもの。

■日柄の順番

先勝 → 友引 → 先負 → 仏滅 → 大安 → 赤口



■日柄に対して、時間と吉凶の当てはめ方

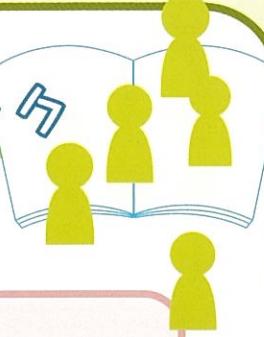
先勝	午前中が吉 (正午・正午からは凶)
友引	正午だけが凶 (午前中、午後は吉)
先負	午後が吉 (正午・午前中は凶)
仏滅	一日中凶 (吉の時間帯なし)
大安	一日中吉 (凶の時間帯なし)
赤口	午前中・午後ともに凶 (正午だけが吉)

自分のことではあまり気にしなくても、相手のことを気にして日柄にとらわれることもあります。入院していて、いつ見舞いに来てもらっても気にならない人でも、見舞いに行くときは「仏滅はやめておこう」と気を遣う人もいるでしょう。

年齢的には、若い人より年配の方が、慣習や言い伝えにとらわれる傾向があるように思われます。若い人が、慣習や言い伝えは納得できないと思って気にしないでいると、年配の人に注意されることもあるでしょう。



みんなの人権ハンドブック



■日柄と暦の関係

日柄の根拠となるのは全て「旧暦」(太陰暦:月の満ち欠けによる暦)をもとにして、六曜の順番を規則正しく旧暦に当てはめてあるだけ。

旧暦の1月1日を先勝、2日を友引、3日を先負、4日を仏滅、5日を大安、6日を赤口、そして、7日はまた先勝、…というように当てはめ、月末がどの日柄で終わっても、2月1日は友引から始まり、2日は先負、…というように月末まで当てはめていきます。3月1日は先負から始まり、以下同様に旧暦の大晦日まで当てはめていきます。一覧表にすると、

	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	…
1月	先勝	友引	先負	仏滅	大安	赤口	先勝	…
2月	友引	先負	仏滅	大安	赤口	先勝	友引	…
3月	先負	仏滅	大安	赤口	先勝	友引	先負	…
4月	仏滅	大安	赤口	先勝	友引	先負	仏滅	…
5月	大安	赤口	先勝	友引	先負	仏滅	大安	…
6月	赤口	先勝	友引	先負	仏滅	大安	赤口	…
7月	先勝	友引	先負	仏滅	大安	赤口	先勝	…
…	…	…	…	…	…	…	…	…

私たちの普段の生活の中では、結構日柄によって物事が判断されたり、決められたりすることが多いと思います。しかし、上のように日柄で「その日は良いとか悪い」という合理的な根拠はなく、単に占いに過ぎません。これをまことしやかに信じ込んでいるのはどうかと思いますが、皆さんはどうでしょうか。

慣習や言い伝えは、長い歴史の中で育まれてきたものです。私たちの生活をより良いものにしているものもありますが、中には、科学的な根拠のない不合理なものもあります。明らかに時代錯誤と思われるものがあるのも事実です。

不合理な慣習や言い伝えにとらわれ過ぎると、そのことで、日常生活が左右され惑わされてしまうこともありますので、十分に注意していきたいものです。

明らかにおかしい場合には、慣習や言い伝えにとらわれない勇気を持つことが大切ではないでしょうか。

